

都市再生整備計画 事後評価シート

城野駅南地区

平成31年2月

福岡県北九州市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	北九州市		地区名	城野駅南地区(地方都市リノベーション事業)			面積	108ha		
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	3,086.6百万円	国費率	0.5				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(地方都市リノベーション事業):若園春ヶ丘1号線、若園重住2号線 公園(地方都市リノベーション事業):北方1号公園 地方都市リノベーション推進施設:図書館、総合療育センター										
		提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(地方都市リノベーション事業):若園春ヶ丘1号線	削除/追加の理由		関連事業に移行した。							
		提案事業	なし	—		—							
	新たに追加した事業	基幹事業	なし	—		—							
		提案事業	なし	—		—							
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	図書館利用者数	人/年	93,373	H24年度	150,000	H30年度	—	190,560	○	あり — なし	— — —	平成31年4月以降
	指標2	総合療育センター入所入院数	人/日	86	H24年度	165	H31年度	—	142	△	あり — ●	— — —	平成31年4月以降
指標3	総合療育センター外来診療件数	件/年	42,800	H24年度	43,000	H31年度	—	44,394	○	あり — なし	— — —	平成31年4月以降	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	JR城野駅の乗降客数	人/日	7,678	H24年度	/	/	8,594	/	/	道路整備による駅へのアクセシビリティの向上や図書館の新設、総合療育センターの再整備によって、乗降客数の増加につながったと考えられる。	平成31年4月以降	
その他の数値指標2													
4) 定性的な効果発現状況	平成30年10月に城野駅南地区についてのアンケート調査を実施 ・住民の声として、その多くが、「図書館ができて、以前よりこの地域に人が多く集まるようになったり、交流が活発になるなど、地域が賑わっている」、「自転車専用レーンを整備し、歩道の空間を広く確保したことにより、以前に比べて歩行者や車椅子の方にとって歩道が安全で快適になった」、「総合療育センターと小倉総合特別支援学校が整備され、障がいのある子ども達がこの地域で以前より安心して生活・学習できる環境が充実する」と感じている。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた	—				—		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—				—		
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—				—		
住民参加プロセス	【総合療育センター】利用者アンケート、意見交換会、パブリックコメントの実施 【小倉南図書館】利用者アンケート、地元説明会等の実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた	—				● 今後も、地域住民と連携し、まちの活性化に取り組む。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—							
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—							
持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた	—				—			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—				—			
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—				—			

様式2-2 地区の概要

城野駅南地区(福岡県北九州市) 都市再生整備計画事業の成果概要

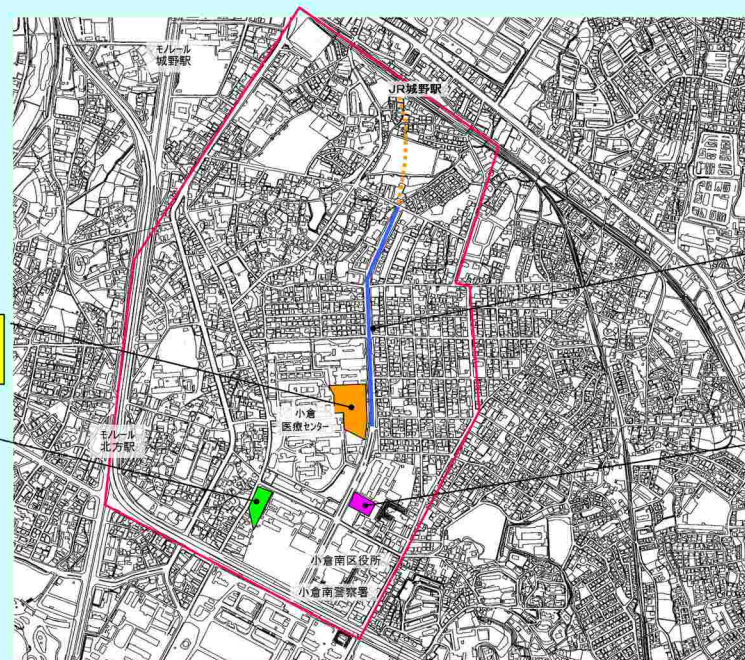
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 公共施設等が集積する城野駅南地区の魅力高め、誰もが安心して快適に生活できる文化的で質の高いまちづくりを推進する。 目標1 生活支援拠点の中核施設としてや、地域の文化・交流の拠点となる施設として、利用者の利便性にも配慮した公共施設の再整備を行い、賑いの創出を図る。 目標2 文化的で質の高いまちづくりを推進するため、図書館を建設し、地域住民の生涯学習活動等の文化活動の促進、地域コミュニティの活性化を図る。 目標3 総合療育センター及び特別支援学校の移転整備に伴い、小倉南区春ヶ丘地区(城野駅南地区内)の施設を再配置することにより、同地区を医療・福祉・教育の連携による障害児支援の拠点として機能強化を図り、障害のある子どもたちが安心して生活・学習できるまちづくりを目指す。 目標4 都市機能の集積に対応し、周辺の道路や公共施設におけるバリアフリー化などにより、高齢者、障害のある人など誰もが便利で快適に暮らせる人にやさしい安全なまちづくりを推進する。	図書館利用者数	単位: 人/年	93,373	H24年度	150,000	H30年度	190,560	H30年度
	総合療育センター 入所入院数	単位: 人/日	86	H24年度	165	H31年度	142	H30年度
	総合療育センター 外来診療件数	単位: 件/年	42,800	H24年度	43,000	H31年度	44,394	H30年度



市立総合療育センター



北方1号公園



■基幹事業〔道路〕
若園重住2号線

■基幹事業
〔地方都市リノベーション推進施設〕
市立小倉南図書館

<凡例>

■基幹事業
□関連事業



若園重住2号線



市立小倉南図書館

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ●公園の再整備や地域の文化・交流の拠点となる図書館の新設によって、地域住民の生涯学習等の文化活動が促進され、地域コミュニティの活性化が図られた。 ●総合療育センターの機能の強化や拡充によって、医療・福祉・教育の連携による障害のある方々の拠点として機能強化が図られ、障害のある方々が安心して生活・学習できる場が形成された。 ●障害者や高齢者にも配慮した安全で快適な歩行者空間を確保し、また利用者の利便性に配慮した自転車専用レーン設置など周辺道路等が整備された。 ●想定を上回る利用状況であり、さらなる蔵書の充実や図書サービスの向上が求められるようになった。また、新たな利用者層の開拓とあわせて、持続的な利用者の増加・維持のための講座、展示の実施や地域の賑わいづくりにつながる図書館利用施策について、図書館と地元団体等で協議していく必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ■文化活動の促進、地域コミュニティの活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用者数・満足度を確保しながら、セミナー室、グループ学習室等を活用して、地域コミュニティの活性化を進める。 ■障害のある子どもたちが安心して生活・学習できるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療期間とのネットワーク構築や、教育機関・相談機関との連携により、障害のある方々の生活を支援する。 ■安全で快適な歩行者空間の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の歩行者空間について、引き続き整備を進めることで、アクセス機能及び利便性、回遊性の向上を図る。 ■持続可能なまちづくり体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の賑わいづくりにつながる図書館利用施策について、地元団体等と協力しながら、まちづくりを進める。